

住民説明会アンケート集計（全体）

平成14年11月25日現在

住民説明会のときに、みなさんからいただいたアンケートの結果を取りまとめました。
説明会への参加、アンケートへのご協力、ありがとうございました。
今後も合併問題についてみなさんのご意見、ご提言をお待ちしています。

問 1 あなたの性別はどちらですか。

	男	女	未記入	合計
性別	2,322	547	12	2,881
	80.60%	18.98%	0.42%	100%

問 2 あなたの年齢はどれにあたりますか。

	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未記入	合計
年齢	6	85	159	416	667	1,007	530	11	2,881
	0.21%	2.95%	5.52%	14.44%	23.15%	34.95%	18.40%	0.38%	100%

問 3 あなたの居住地はどこですか。

居住地	津市	久居市	河芸町	芸濃町	美里村	安濃町	香良洲町
	581	255	180	51	207	114	163
	20.17%	8.85%	6.25%	1.77%	7.18%	3.96%	5.66%
居住地	一志町	白山町	嬉野町	美杉村	その他	未記入	合計
	360	2	617	304	26	21	2,881
	12.49%	0.07%	21.42%	10.55%	0.90%	0.73%	100%

問 4 説明会をお聞きになって、合併の必要性について、どのように認識されましたか。

合併の認識	必要である	どちらかといえば必要	必要はない	わからない	未記入	合計
	1,486	937	182	215	61	2,881
	51.58%	32.52%	6.32%	7.46%	2.12%	100%

問 5 合併の枠組みについてどう思いますか。

合併の枠組み	11市町村	その他	合併は望ましくない	わからない	未記入	合計
	1,485	797	141	265	193	2,881
	51.54%	27.66%	4.90%	9.20%	6.70%	100%

その他の枠組み	50万都市	2	河芸町・鈴鹿市	3
	合併する自治体で	9	嬉野町を除き、亀山市、関町を含む	1
	津市、安芸郡	16	雲出川左岸地域（香良洲町含む）	1
	津市、安芸郡、香良洲町	6	久居市、一志郡を除く	3
	津市、安芸郡、亀山市、関町	6	久居市・一志郡	7
	津市、久居市、安芸郡、亀山市、関町	1	一志郡合併協で	343
	津市、久居市、安芸郡	5	一志郡合併協を除く	1
	津市、久居市、河芸町	1	嬉野町、美杉村を除く	3
	津市、久居市、安芸郡、香良洲町	7	嬉野町を除く	4
	津市、久居市、安芸郡、鈴鹿市	1	美杉村を除く	3
	安芸郡	4	一志郡を除く	3
	安芸郡、鈴鹿市、亀山市	1	芸濃町、美杉村を除く	1
	安芸郡、亀山市、関町	3	11市町村は多すぎる	1
	松阪地区を含む	5	松阪5市町	220
	鈴鹿市を含む	2	鈴鹿から熊野まで（郡部含む）	1
	三雲町を含む	3	大きすぎる	1
	亀山市、関町を含む	9	その他の枠組み	57
	亀山市、三雲町含む	1	枠組み変われば説明を	1
	亀山市、関町、鈴鹿市を含む	1	住民アンケートをとる	2
	亀山市を含む	1	具体例未記入	57
合計			797	

問 6 合併に対するご意見等をご記入ください

1 1 市町村による合併も良いが、龜山市、関町も加えては、合併をするなら50万都市を目標に置くべきだ。	
1 1 市町村が望ましい。津市の主張する点をきちとして欲しい。	
1 1 市町村で速やかに合併に向けて進んでいくことを望みます。	3
1 1 市町村でまとまる方向で話を進め、早期に合併問題に区切りをつけて欲しい。	
1 1 市町村が順調に手を取り合い、新市が誕生することを希望しました期待しています。	
1 1 市町村による合併がもっとも望ましい。一志郡4町村が除かれたとしても残りで合併が望ましい。	
30万人以上となるように市町村を選択する。	
地域の発展、住民の幸せを求めることは必然、県都として三重県の中心として力をつけるべき。周辺町村の合併を早期に進めていただきたい。	2
将来を考えると人口30万人は絶対必要。そのためには市町村と十分調整し、スムーズな合併を期待する。	
効率的行政、地方税の削減、公営病院の設置を望む。ごみのリサイクル熟考を。市の名前「つ」のユニークさが良い。	
新市の名称は「津市」で。	4
調整段階で合併を取りやめることがないように願います。新市は「津」が妥当。議員は設置選挙を願う。	
30万人以下の合併は意味がない。津市という名は、こだわる必要がある。	
三津の顔として繁栄した港町を大切に、中部国際空港への海上アクセスも出来つつあり、大いなる発展をしていくであろうと考えます。名称は「津市」。津市にメリットのある合併を望みます。	
この説明会大変勉強になりました。	
首長の面子を考えず、住民本位で。	
座席が70席なのはなぜか。この出席が少ないのはなぜか。PR不足。説明会は少し早かったのでは。	
準備のできたところから、合併すればよい。新市名は「津市」の名でよい。中国では広域市もある。	
合併は種々問題があるが克服できると思うので賛成。そのとき津の名をどういう形で残してほしい。	
合併に対するメリット・デメリットがあるが、長期ビジョンを確立させること。十二分に検討し進めて欲しい。また各地に今後とも説明会等を望む。	
高齢化が進み、少子化になる。人口密度に伴った行政の容積が必要。また、30万都市にこだわる必要ない。30年前に時計を戻して考え直してはどうか。	
住民の関心の低さが気になる。多くの人が説明を聞くべき。	2
公共施設はどうなるのか。議員・職員数は本当に減らせるのか。この点を市民は見ているので、その点を市民に示して欲しい。子供たちのために将来像を示してもらいたい。	
合併すべき。無責任で傲慢な霞ヶ関官僚にこの国をまかせてはだめ。本当に自立した市町村合併で効率のよい行政をめざすべし。市民はサービスを求める前に何をなすべきか、何が出来るかを真剣に考えること。	
合併前に津市を活性化。中心部の商業、サイエンスシティをどうするのか。プロが来る球場、スポーツ施設を求める。	
合併は大きな仕事。各市町村の差があるので時間をかけてしっかりやってください。	
住民にとってメリットがデメリットより多くなるような形式にしてほしい。	
合併を機に、住民自治対策、若い世代の参加に取り組んで欲しい。	
急がず、もっと住民の声を聞く機会をつくり決めて欲しい。	
津市が中核としての指導制を積極的に取り、鈴鹿・龜山・松阪を対象とした広域の合併を考えるべきでは。市議会が積極的な姿勢を出すべきだ。自分の身分保持に走っていないか。	
デメリットに関しても考えられるものはすべて明確にして欲しい。	
一般市民の意見も聞き、話し合って決めたい。	
合併後の支所統廃合により、公文書等が紛失しないように。30万都市にならなかった場合は再度説明会をするのか。	
行政サービスの向上と説明がありましたが、サービスの低下に（合併による）繋がると思う。	
人件費の削減に期待。	
難事業だが、所期の目的達成に向かって尽力を。	
説明が分からない。データの資料はどこからでているか。課題はすべて反対のことを言っていると思う。	
津市の市民が合併について言うべきではない。ただ、合併してくる市町村の意見をよく聞き吸収合併すべきである。	
住民サービスが行き届きますか？	
津市の財政力指数からみると、津市としてはメリットはない。しかし、合併には基本的には賛成。県都としては30万人以上が必要であり、人口が多くなれば、将来の発展の要素を備えることになる。市長は、自信をもって推進すべきである。今後は環境面と文化面から豊かな発展策を望みます。	
新市名は「津」。少子化に対して子供を育てやすく生みやすい市として対策を講ずるべき。	
市町村単位の狭い利害関係に左右されることなく、大局的な立場での話し合いが必要。必要性の説明がわからない。30万都市は不可能と思う。	
枠組みどおりにならずとも一日も早く合併を推進すべき。	
津市の現状以上の活性化を図るような構想を考えて欲しい。	
これからのまちづくりには、地域の人たちによる底力が必要なので、人づくりにちからを入れてください。合併により物事を大きくとらえていくのも大切ですが、細部にわたって見直しをしていくことも必要。	
合併しなくても施設を共通で使用することは可能なのは？職員のリストラということですが、まず、現在の前近代的な不合理システムを改善することは合併しなくてもできる。三重大学の浅野先生によれば、日本の都市の未来像については、高齢化も踏まえて小規模都市が望ましいとのことであった。基本理念はもう少しセンスのある言葉でお願いします。特例措置の期限の延期を国に求めることはできませんか？合併前に、各自治体がもっとスリム化する必要がある。	

<p>財政以外の面での合併後の変化がイメージできない。津市のまちが淋しいのは人口が16万人ではなく、まちづくりに問題があるからだ。</p>
<p>新しい自治の仕組みを作っていくって欲しい。</p>
<p>ビジョンを明確にして、住民に言いにくいことも率直に説明をして協力を要請すべき。(自助努力の推進)行政のスリム化、スモール化を行い、コストミニマムを志向して民間の範を示して欲しい。</p>
<p>経費削減は理解できるが、住民サービスが悪くなるのではないか。</p>
<p>合併後住民は本当に住みやすくなるのでしょうか。</p>
<p>合併をして何かメリットがあるのか。その町のために何かメリットがあるのか。</p>
<p>平成15年1月には法定協議会へ移行し、実りある議論を。</p>
<p>合併後中心地から遠い地域の振興策に対して不安を感じる。周辺地域は、何にもプラスの面がないように思う。高齢化の進行に伴い、行政サービスが低下するのでは。IT革命とかいわれているが、高齢者には無理である。</p>
<p>説明会の参加人数をみてもわかるように、住民の関心がうすく、さらに説明会が必要と思われる。財政面からのメリット、デメリットを鮮明に出して欲しい。</p>
<p>具体的な合併効果が見えないので一般人にはよくわからない。30万都市となればどうなるのか具体的な案を出せないか。</p>
<p>本当に合併の意思があるのか?説明会参加者が40人足らずでそのうち関係者が半数近くである。企業の合併はもっと熱意をもって行っている。</p>
<p>津市民にとって、従前より何一つ不利となるような合併であってはならない。</p>
<p>合併が元氣な地方を創るための起爆剤になればとおもいます。津市のリーダーシップ、吸引力を期待します。</p>
<p>合併が目的にならぬように具体的、効果的な政策を図っていく時期。合併後がイメージしにくいと感じた。</p>
<p>合併する必要あり。合併しても現在の役所は、支所として残していくだろうが、現在の津市の支所のようなものではだめである。もっと支所に権限を持たせて、多くの仕事をできるようにすべきである。津市以外の所で一番心配しているところであろう。</p>
<p>11市町村の枠組みについて、決定的な意見説明で話が進んでいるが、反対の市町村を分離しています。</p>
<p>真実を住民に知らせることが第一。それなくしては、真の合併はあり得ない。</p>
<p>できるだけ津市に吸収合併がよい。近隣の町村を迎えるということであれば、津市が努力することはやぶさかでない。</p>
<p>県都にふさわしい大合併は無理が生じる。合併を進めるならば津・久居・安芸郡。大合併は財政上の問題が生じる(財政指数等で合併条件が進まない)。一志郡まで合併すると市役所の位置などの問題が生じる。</p>
<p>財政のスリム化を早急に進める。職員定数が減るとサービスの低下につながるのと説明があったが、民間は今、血が出るくらいの努力をしている。少なくとも20%削減して、その財源を他へまわして欲しい。</p>
<p>3回ほど説明を聞きましたがメリットばかりで、全くデメリットもないとはいえないと思います。その点についても一言あってほしいと思う。</p>
<p>人口が増えず、三重県は南ほど将来性がない。もっと北を見るべきである。もしくは合併を見送るか、現在の隣接市町村程度に限定するべきである。</p>
<p>合併論の前にもっと議論が必要。全く議論がなく、結論ばかり求めている。ナンセンス</p>
<p>当面と恒久的なメリット、デメリットはどうなる。市民税の試算はどうか。議員の削減は可能か。人件費の削減の試算はどうか。若者が集まるまちづくりはできるか。箱物は新設しないように望む。バス代の引き下げを望む(長崎市の例により)。11市町村の端から端への距離が長いので、時間短縮を考えてください。</p>
<p>合併のメリットは具体的なものかいま一つみえてこない。新市名は「津」を想定されているか、「港」の名詞を合併後も固執することは、大部分の山地を含む市域にふさわしくない。できれば古来の「安濃津」も考慮されれば</p>
<p>合併後の町のイメージに合う政策を望む。津市を母体とし、久居市庁舎は分庁舎、町村役場は課単位で住民サービスをかけないようにする。余った面積は、コミュニティセンターとする。</p>
<p>住民の合併に対する考えがない。今ごろなぜ行のかという意見がある。行政側の先走りかと思うので1人でも多く、住民説明会に参加できるように自治会を通じ、PRする必要あり。</p>
<p>新しい市の名称を募集するか、津という名前を主張していくか、まず、名称を決めることで住民への意識を高めるべきではないか。また、津駅前へ国道などに合併推進のまちのような名前の入ったタワーシンボルを建てて、気運を高めるべき。</p>
<p>11市町村の合併では、現在のような末端への行政サービスが果たして出来るのか。きめ細かい行政サービスを少しでもマイナスになるようなことであってはいけない。職員の削減の問題で、的確な地域サービスを行ってもらうことを考えれば、むしろ議員の減少に伴う改革は、絶対に必要である。合併した場合の懸念される事項及び合併しない場合の懸念事項を今後、十分調整、検討する必要がある。</p>
<p>中核都市にならなくてもよいから、合併しなくてよい。もし、合併するならば半分くらいの町村でよい。</p>
<p>学校給食について合併するとどのようになるのか、心配です(安全な食品で、安全に扱う)。</p>
<p>合併は理解できますが、具体的な内容がわかりません。課題が多すぎて、将来の明るい展望が見えてこない。</p>
<p>環状道路網を早期に整備し、市民交流を図り中心街の活性化を、中部国際空港へのアクセス港を生かすまちづくりを、また港周辺を市民がくつろげる環境に、鈴津道路の整備、湾岸道路の早期整備を望む。</p>
<p>当局の説明、おざなりの感、熱意(理想)をもって話をしてくれないと、一般市民としては眠くなる。広報と広聴(懇談会)を重視するなら会場の作りかたからして工夫不足だ。今回の懇談会、女性の参加、唯一1人で残念。</p>
<p>嬉野町が松阪市と合併すれば、30万人を切るが、そうなれば中核都市として権限が移譲できるのか?</p>
<p>合併と、活性化変革をセットで考えない。津市住民と例えば美杉村太郎生地区の住民が等しく行政サービスが受けられ、合併してよくなったなど思えるのか?既成の価値観は壊さなければならないが、大きな疑問がある。津市の歴史、文化は多分消えていくでしょう。津市のオリジナルは何も残らない。名前くらいか、多分、何も残らないのか。資料がわかりにくい。プレゼンテーションの方法を研修されたい。最後は住民投票が必要でしょう。</p>
<p>河芸町~美杉村まで、合併による行政サービスの低下を懸念する。身近な窓口である支所等の統廃合の話も耳にするが、合併に伴う便乗改革は考慮してほしい。</p>

住民説明会への参加が今ひとつである状況を、行政側は謙虚に受け止めるべきである。このような状況の中で話を進めていくことには反対である。
合併は津市が中心で、駅前問題、工業団地で赤字のある久居市と対等では不自然。合併後は、小児医療は他市と比較にならないほど充実される事を望む。
今日の説明内容、事務が進んでいないようですが、本当に平成17年に合併していいのでしょうか。
合併に賛成です。小さい地域でできることは限度があります。一市一町村の利点もありますが、昔ながらのこと、今まで例がないことなどなかなか殻をやぶるのは、捨て身にならないとできません。広範囲だともっと多様な価値観の方も見えるし、発言の場(機会)があります。ごみも教育もあれもこれももっと効率よくできるのは、どうしても広領域の方が、実施しやすいと思います。限りある資源を有効に環境にも配慮して実施できるような合併に賛同します。
分権時代にふさわしい都市づくりを進めるために、積極的な取り組みを進めてください。財政が厳しい、交付税が削減されるために合併するのではなく、自立した地域経営をするために、職員と財政基盤が不可欠です。そのための合併であることをもっと強く意識し、PRしてください。また、その意味でも30万都市を目指してください。津市長と職員のイニシアティブを期待します。広い区域の一体性を確保するために、交通網と人の交流ネットワークづくり戦略を明確に打ち出してください。負担を増やさないとPRするよりも、適正な負担のあり方、額を検討し、効率化を目指してください。新市の財政を確立する方が大事です。合併特例債等、大盤振る舞いが用意されているようですが、余分なことはせず健全なまちづくりを目指してください。今、庁舎をつくらうとしているところはよく検討するよう働きかけてください。無責任なことをする町村との合併は反対です。
協議会、説明会等の聴取意見と、対する回答、及び議論の内容をHP上で全面的に公開してください。
中核都市を目指し大合併をお願いしたい。また編入合併を望む(伊勢は津でもつ、津は伊勢でもつ)。
市町村合併ができないと、全国的にみて活性化発展に遅れを取り、住民が一番損をすることになってしまい、時代に取り残される地域になってしまえば手遅れで、将来に禍根を残さないために、なるべく大きい地域として合併を要望する。住民生活に直結する公共投資の拡大を望む。
11市町村で合併を望む。
11市町村合併に賛成、中にはほかの合併協議会に傾いている町村があることを重視して、3つの協議会が合流する方向を探ってみたらどうかなとも思う。当局としては、周辺地域にならないからと安易に思っているのでは、10年後のこともあり財政的に自滅する恐れがある。周辺町村の事をよく考えてみた方がいいと思う。過疎をなくするよう協力すべきである。
説明会(代表者のみではなく地域住民)の機会を多くとること。
小学校区全体で学区をなくし全ての学校(幼、小、中)に通学できるように望む。40人学級から10数人の学級。
橿原地区の特色を生かした政策を望む(温泉及び風力発電等)。
若い人の意見を聞く場を作ってほしい。
市町村合併は必要であると思つ。強い指導刀のもと協議を進めると共に、住民にもPRを望む。人々は、合併あるものとしている人がほとんどのように思う。橿原町のような辺地での住民サービスが悪くならないように望む。
合併については異議はない。橿原の道路整備を早急に計画してほしい。
合併するには多いほうが良いと思うが。
実質津市への吸収合併。津市長を中心に積極的、指導的な動きが見えない。決断の時と考える。池田市長の政治力に期待する。小学校区の変更(見直し)を望む。
説明会に参加し、市長はじめ執行部の考えがわかり、よかった。
さらに説明会を開き、種々論議し、細かい説明を望みます。
今の世は合併は避けて通れないが、なぜ久居・一志郡で合併しないのか。津市を中心とした合併は反対です。資料はメリットばかりで、市民の意見を尊重するなら、公正な文書が必要である。
現状でいけば市民への負担がかかる。当然市民税なども関係してこないか? どういう方法で財政をまかなうのか具体的に合併したとしてのメリット・デメリットは?
合併後の新市の名称により、事業者は仕事に関する書類、その他に記する住所等の変更をしなければいけない。新市ができたとしても、その後事業が良い方向に向かうとは限らないのに、無駄な支出をするのはゴメンである。
津市中心の合併になるが、各市町村平等になるよう進めてほしい。新市の名称としては「三重市」「美栄市」「三重津市」。
目先のメリット・デメリットで論じると話が進まなくなる。20~30年のスパンで考えて合併を進めるべき。県庁所在都市の合併としては30万人ぎりぎりの都市では小さくさびしい。本来なら鈴鹿、亀山、関も含めて大規模合併を考えるべき。
市民にとってメリットのある合併となるよう格段のご努力を願う。
今、合併しようとする市町村は、おおむね江戸時代の藤堂藩の構図であると思われる。現在問題となっている嬉野町も半分は松阪市と思われる。しかし嬉野町を半分に割るわけにもいがないので、津・久居への合併を望みます。嬉野町中川駅の周辺開発はすばらしいものがあり、多くが注目されていると聞いています。
先ず、設問のことよりも、合併について、久居市の行政運営を今後どうして行くのか問題点を問うべきである。合併のことについて2回懇談会を設定したが、今回は説明会と変節している。心変わりしたのか。それよりも行政の取り組み方が行き当たりばったりなんだ。何事も軽く思い付きを得意とし住民も付和雷同するばかりで、いい加減半分で自治会と協同なのか意味不明で、真意を考える住民は、このような会合に顔を出さない。ええようにせえやと冷ややかな面があることを承知しておけ。市行政や行政に関連する退職者があまりにも掛け持ちが多く、味噌くそが一緒である。一番悪いのは総務課長の選挙管理委員会事務局長、監査事務局長の異なる部署の兼務だ。これがあらゆる行政をゆがめる元凶だ。常勤職員の消防団員兼務も違法だ。こんな事柄が平気の平左で推移していることが正気の沙汰でない。
あまりにも急いだ合併だ。なぜ早急に答えを出さなくてはならないのか? 単に合併協議会だけで議論するのではなく、市民の暮らしの中で、例えば自治会とかで議論すべき。合併するだけの議論には反対です。
決めるのは住民投票を。
合併に対してのアンケート・意見は、全住民には問わないのか? 全住民の意見賛否を聞くべき。津市長は合併に対して津市が中心となり名称も津市との情報を聞きました。合併した場合新市名を公募で決めてほしい。

合併について、住民に差があると思いますが、根気よく市民に説明してください。市民の生活が少しでも良くなる様な合併を望みます。
30万都市にならなかった場合、中核都市のメリットはどうなりますか。
合併によるメリットは大変良くわかった。デメリットもあるのではないかと。財政力指数の比較・経常収支比率の比較の説明を聞いたが、久居市は大変悪い。これは市長の政策ミスではないか。
本当に市民が知りたい情報（課税、公共料金）を正確・公平に流してほしい。久居市民が不利益にならない合併を望む。
30万都市（中核市）にならない場合のデメリットについては？また、11市町村合併にならない場合、議会の承認は得られるのか（12月議会で）。市民税の均等割についてはわかったが、均等割以外の課税率についてはどうか？
木目細かい行政を望む。11市町村の合併によってサービスが低下すると思う。海から山までの広域合併で「一体的なまちづくり」ができないと思う。市民の声をアンケート等でもっと広くとることを望む。
小さい市（久居市）が大きな市（津）に合併されることは、余程メリットがない限り吸収合併とならざるを得ない。そのメリットの明示がないままでの合併促進は、市長の市民に対する裏切りである。市長は合併成りしとき中央又は県からお褒めがあるであろうけど、榊原・稲葉・桃園と今後市議会議員を選出することがおそらく不可能の地区はどうなるのか。目配りはしてもらえないだろう。沈みかけている自民党政府の走狗になる勿れ。国の財政破綻によって久居市民が今後合併で一層の負担を強いられることは実に情けない。住民投票すらできない久居市とは墮ちたものである。地元からの要望での合併でない合併は反対であり、久居市の苦しい財政状態は、市民に訴え市民で解決を図るのが久居市役所市長以下行政担当者の生き甲斐ではないか。
中学時代、合併を体験しました。その折中学の体育館が事務所になり、雨天の時など全く使用できず、何か淋しい思いをしていた記憶があります。合併の事務に、子どもたちに負担のないようにしてください。
各市町村は文化的（安心して暮らせること）に豊に暮らす権利がある。したがって、合併により不平不満が出ないように行政運営を願う。また、合併により失業率の増加にならないように望む。したがって、雇用体制の充実を図った上で進めていただきたい。久居市における各施策の見直し体制の充実を望む（無駄な事業はないか等）。住民参加型・指導型で合併について議論し合併することでよかったと思われるように願う。
中核市として住民サービスを十分に望む。
合併について住民投票を望む（18歳以上で）。
住民にとって何がよくなるのか、例えば税の関係、道路整備の問題、福祉関係等、具体的な事例をあげて説明を望む。合併しても稲葉地区まで予算が届かなくなるのではないかと。合併する前の予算は多く、懸案の事項を解決してほしい。
中心部と周辺部のサービス格差がないよう留意の上、推進されたい。現在の支所等が、合併すればなくなるのではと心配である。集団検診等でたん検査を受ける場合は個々に市役所まで届けているが、合併後は津まで届けるのか？合併によるメリットは財政負担の軽減のみで、市民の負担増・サービス低下となるように受け止められる。合併をしない場合との対比で、10年・20年後を説明されたほうがベターである。
11市町村構想の他に、久居市と一志郡の合併も考えられるが、両方の合併問題について、どのような検討が行われたのか説明を望む。
11市町村は、ほどよいグループだと思う。あまり広域になると利便性に欠け、緻密な行政が難しくなる。かねてから市長が主張されている合併、久居市民のために強力に推進されたい。
合併にはあまり関心はないが、高齢化に伴いやむを得ないと思う。大きい町（市）については施設も整っていますが、町から外れたところでは、おいていかれるように思う。
郡部まで行政が行き届くか、津市が中心の行政にならないか、高齢化の進捗中、特に福祉関係が心配である。行財政の片寄りが生じないか。
合併に賛成する。市名は「中央市」を望む。
西部地区の県道整備が遅れている。下水道も合併したらもっと遅れるのが心配。
世はデフレ時代となり市行政、建設、経済的にも行き詰っている。組織の拡大、強化し、より以上に構築した社会の充実を図るべきである。皆の利益を得ることも必要であると思ひ、是非今の機会に合併をすべきである（他の地域に遅れをとるようでは）。
合併問題について、現在一志郡がもめている。久居地区は完成度が高いと思う。どうしても30万都市を確立して財政問題の解決を。
一志郡の動向を考え、もし一志郡4町村が別に合併し、新しい市となった時、11市町村はどのように合併するのか。
この地区の特色をどのように出していくのか？不明な点が多すぎて合併後のイメージがわからない。質問の時間が短い。もっと時間をとるべきだ。
今回の説明会を住民の意見を聞く場であると位置づけているのであれば、意見発表の時間をもっと確保すべきだ。説明に1時間あまりかけたが、説明内容はパンフレットを見ればわかるので要点を絞って説明願いたい。
11月5日に久居市は津市をはじめとする9市町村で法定に移行すると報道されたが、これは本来は住民説明会が終わってから決定するものではないか。実際、嬉野町長は住民説明会が終わってないからと決定は待つてほしいと協議会で発言されている。この地区の意見は反映できないのではないかと。
全体として年配者の参加が多い。（参加者）もう少し若い世帯の参加できるよう望む。合併後は、文化施設、教育施設の向上を望む。子どもたちを取り巻く環境、行政サービスの低下をまねく合併は避けること。
合併の総論は賛成。しかし枠組みは「久居市・一志郡」で一つにまとまり、久居市がリーダーシップを発揮するのが久居市にとって望ましい姿と考える。対等合併を貫くことである。津市長の発言は「合併してやる」という高慢な姿に写る。「新市名を津市とするなら、久居市は津市と組まない」ぐらゐの久居市長の発言があってもよいのではないかと（対等合併のための交渉術としてマスコミなどを利用するなど）。久居市民の生活環境を守るため久居市の立場を強く訴える時期に来ているのではないかと。
目先のメリット、デメリットにこだわらず、将来にわたって住みよいまちづくりを考えてください。是非論は色々な角度からの民意があると思いますが最終的には市長の適切な判断を望みます。（一部の反対の意見の排除を）
協議会決定時に再度住民説明会の開催を。
各市町村の特色、特産等は残してほしい。

各地区で説明会がありましたが、参加人数（女性も少ない）が少ない。もっと小単位で説明会を行い集まるのが大切だ。市民でありながら隣近所の話にも上っていない状態である。自治会を中心に行ってはどうか。規模が大きいと行かなくていいのかと安易な考えである。小単位にすれば隣同士で話し合うので来るのではないが、ごみの分別の集会はたくさんの女性が参加している。市民の意識を高めることが大切である。11市町村における合併はよいと思う。各地域のよさも生かせるし30万都市のメリットもあると思う。基本理念は大変良く、まとめられて。
11市町村の合併は小さすぎる。60万から70万の合併を望む。無駄な歳費を減らし少数人員で市政を運営。税金は有効に使うべきである。
合併と同時に人員（特別職、市議、職員）定数にすれば財政的に助かる。そのために、事前研修を実施し、残るか辞めるかを問う作業をするべきだ。民間企業において希望退職制度にした例はある。そして失業対策も考慮すべきである。合併特例法の予算を使う方法もよし、公務員も傷みを。
住民に関心がない。説明会のPR不足が要因と見る。
現時点では遅いが、もっと市民に情報提供を願う。
20年30年もっと先のことを考えて是非合併が必要で。
古の市町村の役割が終わろうとしている。さまざまな障害・困難が予想されるが、本件に関わって鋭意邁進されることを念願する。メリット・デメリット論が飛び交っているが、町名等にはすこぶる愛着があり、100%残すことは不可能だと思うが、由緒あり、今もなお生きている町名等については努めて残存いただきたい。榊原・桃園などでは「周辺は切り捨てられる」と懸念される声がある。
新市の名前はどうするのか。それぞれ名前を残すことを考えているが、できれば「津久志市」はどうか。メリット、デメリットは。市民サービスは低下しないか、市民税・上下水道はどのようになるのか。
行財政改革が必要というが、今までに行・財政についてどのような努力をしたのか具体例提示願う。少子高齢化社会は町村合併で解消されるのか。大きくなれば全て良いものでなく、小さくてもよい市ができるのではないのか。準備期間3カ年をおき修正案を作り、本スタートすることを望む。地方分権の重視のため財政に大きな負担になるから合併とは？小さいながらの分権、健全財政は考えられないのか。
都市計画税率について、これから見直していくことで説明できないということですが、合併による負担増は困る。市民の声である。
津市長の話によると津市中心部の活性化を最重大項目となっているが、久居市の旧町村部は捨てられることのない様に話し合いを十分に行ってほしい。地域の文化活動は現在そのまま続けられるように。吸収合併は行わないように。
新市の名称について、津市長の意見で決めないで。「三重市」がよいのではと思う。県の中心であることと、三重県三重市と続くのがいい。
中学給食、幼稚園給食の有無を統一できないか。できれば現在給食が実施されていない地域も給食を始めていただきたいです。
もう少し市民にわかりやすく、現実的に金額を出してほしい。
住民へのサービスの低下にならないか（役所が遠くなる、議員が少なくなる）。
環境保全のためにもマイカー通勤が減少するように、公共交通機関の利用が高まる様な路線の配備を新市に希望。雇用の促進を強化する。中小企業に元気を与えてやることを新市に希望。税金は少々高くなって、高齢者への配慮（市内バス無料等）や公共施設の利用が便利になれば結構。
市民に合併ということについて認識されていない人が多い。説明会に出席された人は地域の10%あるかどうか？久居市民全体に理解を求めため何回でも結構、どんな会合でも時間を割いて説明を願う。
市民としてどんな事も知っていきたいと思っている。
中学校給食がミルクのみとなっていますが、是非、合併に伴って給食を要望します。
合併はあくまで住民の幸せな生活のためが目的だと思うので、行政や財政のためだけにしないよう最大の配慮をお願いしたいと思います。
経常収支比率の比較が高いのは失敗行政ではないか。
要望として、今後必要に応じて逐次広報等で住民に知らせてほしい。又、伝達の方法・内容については、一般の方にも解るように、解りやすいように工夫して作成されるよう願う。例えばQ & A式等で知らせてもらうのもひとつではないか。
広報とか新聞等で合併について色々見聞きしますが、資産内容から政策の違いによって検討されておりますが、地域によって格差のあるのは当然で、折り合いのつく地区で合併を推進すればと思う。合併後の行政サービスに対して木目細かいことができるのか問題があると思う。説明会を聞いて必要性は大いに感じたが、関係者の方が努力されている事が将来生かされるような合併を望む。
説明資料で、突然の嬉野町離脱で、今日直ちに数字等を修正することは難しいと思われる。しかし、あらかじめ予測できないことではないと思われる。それらを想定した数値をできるだけ算出してあげれば分かりやすかった。
説明を聞き、不安と期待と複雑な思いである。税金、水道料金、国民年金、介護保険の料率に不安を感じるが、少子高齢化が進む中ではやむを得ない。久居市長は市町村合併の中心となり、リーダーシップを発揮し、平成17年1月30万都市を構築されるよう願う。新市町村字名、歴史、文化、伝統は残してほしい。国道23号線は渋滞ばかりなので嬉野町から安芸郡への道路建設の考えはないのか。久居駅南の近鉄線の高架化あるいは地下路の考えはないのか。
前回、今回の説明会資料や市広報などで細かく説明されており、概ね枠組みは現在のものが当然と思う。久居市の置かれた状況（立場）からメリット、デメリットを比較したら合併したほうがよいと思われるが、住民に対するデメリットが未だ判らないので、この点は今後充分周知を望む。
合併は基本的にはよいが、新設合併でないで困る。嬉野町、美杉村が外れても問題はないか。住民サービスに、疑問が残る。計画道路はどうなるのか。ポルタ周辺の交通整備はどうか。立体交差ができないか。駅前再開発ポルタのデメリットがあることをアピールする必要がある。

この説明会の出席者は、90%の方が60歳以上の方で占めている。今後、合併に関して進めていき、負担していく方は、現在の生産者の若い方の意見を聞き、又説明会に出席されるよう手配ができなかったのか(保育料、水道負担料の支払は若い方々である)。合併の懸案事項についても、今後特例措置があるが、これも今後、税によって若い方が負担していくものである。
合併に賛同の市町村で合併したほうがよい。
11市町村で合併を望む。
合併に乗り遅れては大変なことになる。ぜひ、実現を。
新市の発足時より、議員数は適正人数(少ない程良い)とすべきである。地域から意見を吸い上げる方法として、地区総会的なものを十分考えてください。
懇談会には、若い方が少ない。若い方に呼びかけが必要。
物質面での説明はあったが、心豊かな生活ではどうか。顔の見えない、心の通わない行政になっていく。その解決がない。これからは人(特に若者)は住みよい自治体を求めて移動する時期に来ていることも心すべきである。
リーダーシップを発揮し、どんどん進めるべき。
合併問題は避けて通れない問題である。将来の国状を考えるに決断してもらいたい。
行政サービスの低下による地域住民の負担増が生じるのでは。
平均に調整することのないように。
行政システムの改革と同時に、市町村職員の意識改革を進めていただきたい。町村合併後の事務、サービスの質を決める大きな要素になるのでは。
合併により、行政コストを削減すべき。現在の財政事情から、住民サービスが低下しても仕方がない。住民が行政に頼らず、自立するよう努力すべき。将来のビジョンもさることながら、合併しない場合の住民負担の増加を明確にし、それと合併効果を比較したらよい。
財政面からみて単独では、無理のように思う。
合併は賛成。地域の特性を生かし、地区の発展を行うべきである。辺地育成と言うべき面に充分配慮すべきである。
協議会での調整案で、水道、保育、幼稚園、給食、国民健康保険料、介護保険料などは、できれば現況の金額を望む。
ビジョンのない合併は意味がない。11市町村で合併する目的意識がない。
対等合併を望む。
大きな財源のない津市と合併することに、将来不安を感じる。
早く進めて欲しい。説明会をもっとしてほしい。
合併には反対ですが、今回は合併必要と考えます。今よりも一層広い視野で自治を考え、より質の高い公共サービスが提供され、住民がこのリーセントなサービスを受けるためには、市町村合併はやらざるをえないと考えます。
料金が、合併により統一されるが、津市民はOKなのか。
津市のサイエンスシティ、久居市のポルタ久居の巨額の負債の問題が、合併の推進上、障害になるのではないかと。
地方行財政改革の推進で小さい自治体は悪くなり、従来どおりの行政サービスは受けられないと思う。合併により、健全な財政運営ができる。合併は必要。
新市まちづくりのキャッチフレーズ「ハートのまちづくり」ですが、趣旨はわかるが、もう少し新しい感覚で、若い方にもアピールできるものを公募したらと思う。キャッチフレーズは重要なことと思う。学校給食においても、中学校の給食は当分の間現在の実施方法を継続するということだが、今回の合併は、行政区の合併であり、是非、当分の間ということではなしに考えてほしい。
合併で、住民サービスが低下しないか心配ではあるが、どの地域も平等なサービスが受けられるよう望む。
地方分権化ができるのか。町政の馴れ合いは良くなると思う。行政の窓口が多様化し対応が遅くならないか。町道が市道となった場合、きめ細かい施工ができるのか。議会(合併後)での、エゴ(地区代表)と多数決で取り残されないか。
地方債は必要最小限に。地域審議会は合併後5年から10年でなくなる。しかし、地域格差が出てくるのは、その後からだと思う。この点どう考えるか
河芸町は単独で十分成り立っていくものと思う。合併には反対。
住民投票は不可欠。これなしに論じてもらっては困る。
芸濃町が単独の場合、3年・5年・10年後の町民負担額はどうなるのか、大体の試算額を出さないと町民は納得しない。また逆に合併した場合には、どうなっているのか、数字を出さないと納得しない。統一の資料だけではわからない。もっと詳しい資料を町単独で出してほしい。
住民が生活していく上で水道、ゴミ、教育、保健等に要する経費の負担増を極力抑えてほしい。
常々努力に感謝。順調に進むことを念じます。
合併後30万都市のメリットについても、今後5年後に見直されるのではないかと。又、前回の合併により、少子化による河内小学校が廃校となったが、明小学校もこの二の舞にならないか。社会福祉協議会も合併により統合されるが、老人会の要望による公民館設備を充実を望む。
対等合併が必要条件であること。小部落の過疎が起きない様望む。
広域になると末端まで福祉の問題、生活する上での事柄等諸々の木目細かい事が届かない。津市を中心に考えた場合、軽視されることもある。河内地区は一辺一隅で度外視される。30万都市にこだわらない、津市・河芸町・芸濃町・安濃町・美里村等で合併を希望する。
対等合併を進めてほしい。大合併となると、吸収合併となり反対します。

合併した場合は、新市のはずれとなる為「おきざり」にならないようしっかりとした町づくりの構想を願う。合併までに、町としてできる事(地域の要望、公共施設の整備)は早急に願う。
説明会への町民の出席が少ない。町民は関心がないのか?それとも行政のPRが足りないのか?もっと沢山の住民の意見を聞くべきだ。一部の反対批判だけの意見ではだめだ。もっと小さい地区で、沢山の住民の意見を聞くほうが良い。納得するような説明をしてほしい。
なぜ津市・久居市・安芸郡・一志郡の合併はありきか?亀山市・関町との合併もありうる。津との合併は成長が望めない。都ホテルにダイエー、ジャスコ、大型店が撤退。理由は津地区に成長要因がない。亀山市・関町は成長性が非常に高い。町職員は5・10年先を考えるべきである。11市町村の合併には大反対。ましてや、庁舎建設は無意味である。宝の持ち腐れに絶対なる。その時は必ず責任問題になる。
美杉村を無理に引き入れなくてもよい。
合併までに、細部にわたる要望を住民から聞いて処理してほしい。
美里村の名前は残してほしい。役場も支所お願いしたい。
きめ細かい地域住民のサービスが受けられるよう望む。新市への意見が通るようなシステムを望む。
合併によって住民の生活がどのようになるとか、人件費の削減で住民がどれだけ得をするのか(税金がどれだけ安くなるのか)などの話をもっとすべきである。とくに周辺地区の住民としては合併によって取り残されていく不安があり、新しい市のまちづくり構想と合併後に地域の声を反映させるための地域審議会の設置をぜひとも望みたい。合併の枠組みについては、基本的に各市町村が自分のところの決意を鮮明にすることで他についてあまりとやかく言うことではない。新市名については、アンケート調査などで合併する住民の声を大切にしたい。新市役所については、津市役所を暫定的に決め、合併してから移すかどうかを議論すべきで、合併の条件とすべきでない。税金や公共料金については、合併協議会で決めればよい。
端々まで行政の手が届きにくくなるのではないかとと思うが、「地域審議会」が設置され地域の意向をきめ細かく施策に反映するようにするとのこと理解でき、継続することが必要。合併後に問題を残さないようにされたい。
地方自治とは、住民自治ともいえる(住民が望んでいない)。今回の合併論は政府の利権政治から生まれた財政・金融行政の失敗により起因している。国の失政のつけを地方自治体・住民に押し付ける今回のやり方は納得できない。
県庁所在地で津市は2番目に小さい寂しい市である。この機会に亀山市・関町にも呼びかけ、中核都市を目指してほしい。
行政のサービスの向上を望む。
美里村はあくまで生活圏である津市を中心とした合併が望ましい。
2市9町村の合併を極力推進して実現するのが望ましい。
財産区の取り扱いを、合併までに整理してもらいたい。地域審議会の立場を明確にすべきである。まちづくり基本構想(中間案)は30万中核都市の構想であるが、美里村としての進むべきまちづくりも検討する必要があるのではないかな。
合併後は、住民参加で新しい町をつくるというが、住民に情報がほとんど与えられていない、これで住民が参加できるのか?新しい町を語れるのか?
住民は村合併について関心がないのか?説明会を開催しても、参加者が非常に少ない。参加者は(区長、議員及び職員)がほとんどである。
町の将来を考えれば、合併が望ましいが(一時的には)国の金(赤字)を使う事になる。700兆の赤字債を負担(国民が)していかなければならないのならそれを増加させてはいけぬ。合併せずにサービスを減らすか、町税を上げるか。国全体で、何にしても金を使わない様にならなければいけない。又、一度町民投票を実施しては?
地方条例の制定は、合併後どうなるのか(今後現在の地域で定めた条例もあるのではないかな)?公共交通機関の発展と撤退とかの影響はないのか?便利な地域に人が集中するのでは?山間部は、特に路線バスが少なくなるのでは、一部の交通機関の悪い地域はより過疎化になるのでは?中心地から遠方にある地域の振興策に不安が増す。町道、村道よりも利用者の多い中心地町道、県道、国道の整備が優先されそう。
地域的に、11市町村では広すぎて、周辺部における行政サービスが懸念されている、又、市町村の数も多く、行政サービスの方法等に、市町村間の温度差があるのではないだろうか。まずは、身近な町村において合併し、徐々に大きな合併へと進む方がスムーズな合併ができるのではないだろうか。
合併によるメリットをもっと詳しく説明されたい。「30万都市のメリット」では何もわからない。具体的に、またそれに対するデメリットも示せ。「財政の悪化」が合併で解消できる図式がみえない。合併しないことのメリット、デメリットがみえない。全体的に住民へのプレゼンテーションが全然足りない。
合併に際し、マスタープランは大切なことと思う。もっと集落の意向を聞いた、住居地域の指定を願う。また、マスタープランで指定できないのであれば、他の手段の提示を願う。
岐阜県等で小さな町が合併拒否の報道があるが参考としてください。
最終結論はどうきめるのか、誰が決めるのか、出来れば住民投票を。
対等合併の中味をしっかりとらえてほしい。吸収され、費用が高まることにならないように、赤字財政におちないように望む。
現町村で決議できる権限を決め、地域に密着した行政を望む。
安濃町の良さや、自然を残してほしい。
合併経費も節約し、現施設を利用し、将来の子ども達に少しでも負債を残さないように考えてほしい。
生活・福祉レベル等ができるだけ下がらないことを望む。
吸収合併は反対。(津市長は、新市の名称は津市と発言)
過去の行政についてどう思っているか、責任問題、行政全体の効率等、反省材料が多々あると思うが、いかがかな?
地域懇談会はよいが、前提条件が変わったときは、議会に付帯せず住民の町づくりとしての意見交換の場を必ずつくること。合併は、町として条件を作ること。

ミニ中央集権的行政改革ではなく、改革の趣旨にあるような「多様で生き生きとした特色ある地域が機能的に集めた未来に目を向けた新しい地方都市創設」に向けて改革していただきたい。
マスコミによると、津市長の発言の中で新市名は「津市」でよいのではとあるが、現在の協議会では、この発言は、一人歩きではないか？また、安濃という地名はなくなるのか？津の歴史の中でも安濃という言葉が出てきている。
慎重に検討を望む。
一志郡との合併は望まない。区単位で話し合っ、もっと民意を反映できるように。
資料もくわしく、町の合併の考えもわかった。賛成。若い人にも説明会をして理解してもらいたい。
新設（対等）合併が当然であるが、形式だけの対等合併ではなく、実質的に対等が保障され、実施されなければならない。地域審議会の権限強化により、地域住民の要望が達成されることを希望する。
大きな市になると役所が遠くなり困るので、福祉バス等の充実を望む。
説明を聞いて、合併は避けられないと感じた。しかし、説明の中に、祭などの文化事業がなくなる可能性もあるということで、この面に対しては、必ず残していけるようにしてもらいたい。
時局の情勢から合併は止むを得ないと思う。11市町村方式賛成。対等合併になるべきと思う。施設関係は整備を終えて喜んでいる。しかし、施設は破損していくので、この補修等が遅れないように申し入れを望む。
11市町村は範囲が広がりすぎ、末端まで対応できなくなる。（サービス等）
今後は加速するであろう地方分権に対応するには、人員増加が必要となる。しかし、不況の中での増員はかなわないと考えられ、地方分権に対処するには、合併を置いてほかにはないと考えられる。
さて、私たちの家庭から出るゴミの処理について、現在は他市町へ搬出している状況であり、合併後の市には、山あり、海あり、環境に配慮しなければならないことが数多くあります。合併云々も大切ではあるが、新市の目標、例えば、環境都市（ゴミ等を市外へ放出しない）をかかげる。それにむかって市民感情を高揚させるのも一手段であると思う。
香良洲町という名前（町名）は是非残して頂きたい（市香良洲町）
香良洲町の無形文化財の宮踊り、夜がらす及び各地区の手踊り等を残すことを望む。
合併には反対でしたが、止むを得ない状況にあることはよくわかりました。一番心配なことは、その市町村の地域色が失われてしまわないかということ（個人的には地名が失われてしまわないか心配）。香良洲町には、特に地域色が強く、残していきたい行事などもたくさんあると思う。合併において、先を見据えて失敗のないようにしてほしい。
学校給食は、今まで通り冷凍物を使用せず、教室も余裕をもって勉強できるようにお願いしたい。
若い住民の方の参加が少ない。PR方法を考えてください。
11市町村の対等合併が良い。
今後、合併についての進展に合わせて、全て公開、説明会の実施を望む。
香良洲町の住民立場だけを考えると、JA一志東部の枠も望むが、財政力を考えた時、また、今後の行政力を思う時、11ヶ市町村の枠組みに落ち着きたい。
説明会に参加し、今後がとても大切な時であり、より具体的な情報を、住民に提供して頂きたい。
説明会は大変勉強になった。香良洲町は、住み良い町だけに、合併問題は難しいと思う。でも、目先の事だけにとらわれず、今後長い目で市町村合併に取り組んでいただき、一住民として町づくりの為に協力出来る事は進んで参加したい。合併後、何もかも合理化を優先するのではなく、サービスの低下を招かないことを望みます。今後の説明会もお願いします。
津市香良洲町になるのか、津市久居香良洲町になるか、ひらがなのつ市を望む。さいたま市などの例があるから。
住民サービスの低下を絶対に招かないように。合併についての情報をできるだけ住民に提供してほしい。
現在の大きな市町を思い出すと、末端の町村への配慮が対等でないように目に写る。
都心部への配慮と、末端への配慮が対等であれば、合併には賛成であるが、そうでなければ反対の方へ手を上げたい。
各町村における地域の文化が消滅することのないよう考慮を十分に望む。
情報公開の場を多く持つてほしいと思いました。
合併に賛成が反対ではなく、誰もが賛成しなければならない状況に持っていくべきではと思います。
財政面等を考慮すれば、合併は避けられないと思う。であれば、賛成せざるを得ない方向に持っていくべきである。その為にはさらに多くの説明会を開き、住民参加の合併推進であることを望む。
参加することで、いろいろ勉強できた。参加出来なかった、しなかった方々も回を重ねることで関心を持ち、参加者も多くなると思う。
今後、住民一人一人が、序々に参画の重要性を認識すると思う。やがて、そんな一人一人が団結し、この香良洲町をより強固な町（地域）にして行く為には、地域審査会の構成に左右されると思う。その為には、その下部組織は、ビジュアルな皆の目に見える組織体制でなければならないと思う。
今回の合併は、良い悪いは別にして、合併しなければならない（財政面が大きな理由）と思う。ただ、今後のまちづくりを考える場合、できるだけ木目細かい行政サービスが可能（維持できる）なように研究すべきであり、地域審議会（協議会）の設置を希望する。結果として、今回の合併をプラス思考でとらえ、合併を利用して、今までの町に欠けていたものを補い、今後の町の発展につなげていくよう努力すべきである。
子供たちの為に考えてほしい！！小さい心を受けとめて。
新しい市になっても、今の香良洲町の良さを残してほしい。また、新しい町づくりもしてみたいと思います。
町にメリットのあるように。
合併後の行政サービス、福祉サービスが低下しないことが重要である。
住民主体の行政、住民も自ら参加する姿勢が必要で、各町村独自の文化、福祉サービス等は存続するようにする。
手数料、使用料、税、料金等増加することが予測されるが、段階的な処理が必要と考える。

国の示す方向を考えると、合併はさけて通る事のできない問題と思う。そうなれば、合併後の形式を考え、他所と異なる問題点を考えれば我々、香良洲町民として、まず第一に大災害を考える時、橋等が落下すれば孤立してしまい大変なことになってしまいます。この問題一つ取ってみても、避けて通れない合併なら、他より早く安定した生活ができる形式を取るべきだと思う。例えば（災害対策特別強化地域）等の特区など。	
現状では、国の交付税が減額され地方分権が進む中、仕事が増大することは必要であり、合併はすべきである。11市町村の合併が有力ですが、一番端の地域となる為、あらゆる面において平等性の主張をすべきである。津市長が新市名を「津市」が望ましいと発表しているが、三重の中核市としてふさわしい市名を協議してほしい（愛知県の田原町、渥美町、赤羽根町は新市名が決まらず合併できなかった）	
香良洲町は、早くから津市を中心とした態度を表明しているため、その強力なリーダーシップを新市に於いても発起してほしい。	
将来を見据えた議論を充分しておくべきです。	
松阪地方の合併へ。	29
一志郡4町村合併。	6
11市町村合併を望む。	2
対等合併あるのみ。	7
50万都市を望む。	3
住民投票の実行を。	2
理想は、30万～50万都市を望みたいが（津市・久居市との合併）、中心地津市とは離れすぎている。末端行政が届くことが難しい。一志郡4町村では線が細く、将来的に県下の市町村の末尾の位置となり、全てに損が見込まれる。嬉野町の存在感をアピール出来るものは？	
町長の話は町職員のための合併、議員のための合併しか考えない。町の職員、議会の議員のための合併はやるべきではない。	
医療、買物その他、松阪市との合併に賛成。	
財政中心が望ましい。	
合併については、もっと議論すべきだ。木目細かい行政を行うには、行政単位が大きくなるほど行き届かないことがある。合併ありきで議論するより、まちづくりで議論すべきと思う。	
町長が4か町村を望むのであれば、何故、強力に進めないのか？まだ、不安があるため三方向しか報告できない。しかし、財政力を考えるのなら第二次合併を考慮するその時点において、吸収合併となる。今、頭に入れるのは、核のある市への合併と考える。職員より住民大切。	
住民投票の実施、不実施は別にして、（今の議員では無理）住民一人一人が判断できる状況をどう作るのかを、是非考えてほしい。小さな住民の集まりにも、行政から説明に来ていただくことを望む。	
地方分権の到来、財政と今後の見通しの明るい方向性をいち早く決定してほしい。	
合併は誰のためにあるのか？広域でなければ効果は期待できない。住民は何を望むか？少子高齢化は行政負担を軽くすることであり、そうでなければ、将来の若い人たちに多くの負担となることは避けられず、これを解決する方法は一つしかない。それは若い人にシフトした政策でなければならない。答えは津市、松阪市との合併しかない。	
小規模は反対。	2
合併の原点は、財政を如何に立て直すかで、そうした視点で合併を考えるべき。歴史的な感情だけで進めるのは問題である。津市を中心としたネームバリューの中へ嬉野町も入り、今までの行政の継続をすべきである。もっと大きな目で考えてほしい。もう時間が無いことを十分に町民に説明が必要。町長は町職のこししか考えていない。町民のことを考えよ。	
生活圏が何よりも大切。行政の区域はこれから変更はできるが、今までの生活圏を変えていくことは困難。したがって郡内もしくは松阪市を望む。どちらにしても対等合併でありたい。	
行政サービスを第一に。負担は少なく。	
歴史・文化の古い町"嬉野"の名を残すべき。難しいと思いますが、何とか一志郡4町村での合併を望む。	
若者からの立場上、資金源が大切。津との合併を望む。将来からいって、大きな道が必要と思う。	
松阪市と合併し、広域で行政を進めてほしい。	
住民の意見尊重より、首長及び議会の一方的でよいと思う。地域的、広域的、活動的により相合一致すればよいと思う。	
11市町村合併には反対。	
津市、松阪市と合併した場合のデメリットのほうが大きいのではないかと。郡内の合併で行くのが妥当ではないか。嬉野町の良さが失われるのは淋しい。	
説明会を聞いて不安がより大きくなった。町長、議員のリーダーシップを望む。迷いがありすぎる。意見のない職員の説明会への参加はやめるべき。威圧を感じる。	
一志郡4町村が望ましいと思うが、一志町の住民アンケートによって、一志町は久居地区に傾いているので、4町村では無理と思う。	
一志郡の枠組みができない。また4町村も無理。最後は嬉野町だけ残される。そしたら津市か松阪市の方向が残る。町長、議会だけで決めることはどうか。	
自立できる自治体となるよう、中心地域が発展するのではなく、各地域の特色を生かした地域づくりを望む。	
吸収合併では意味がない。2町1村だけでも合併を進めるべきである。	
どこで合併するかにより、今後、嬉野町の将来も変わってくるので、しっかり検討していただき、合併先を決めていただきたい。そして合併後は、町民の意見をどんどん聞き入れてもらい、よい新市へ向かってほしい。	
津・松阪・一志地区と、どこで合併しても財政面以外にメリットはあるのかと思う。風土が似ているだけで、合併できるのか？たとえ、合併しても嬉野町の風土・文化は受け継げるのか？しかし、日常的なことでは、やはり役場など、係は近くにある方がよい。	

<p>一志郡内での合併を模索するのはやめ、現実的な松阪市との合併に進んでもらいたい。一志郡内での合併を呼びかけている嬉野町長の姿勢に疑問を感じる。このままでは、松阪市との合併に乗り遅れ、嬉野町は孤立してしまう恐れがある。一志郡内で合併したところで、嬉野町はリーダーシップを取れるかもしれないが、町村合併でのメリットは少ない。今、各町村の財政難の時、そして、嬉野インターの負債を抱える中で一志郡内での合併では将来を見込めない。今、負債を各町村が抱えていく中、行政改革を進めていく中で、町村合併は必要である。今までに何回かの住民アンケートをとって模索してほしかった。</p>
<p>資料を検討した結果、やはり一志郡内での合併を考える。一般住民内では、財政が嬉野町が一番厳しいと、大多数の人が考えている。多くの人は勘違いをしているので、津市方向とか松阪市とかの意見ができるのではないかとと思う。</p>
<p>財政支援措置の返済はどうか説明不足。 財政規模の大小による具体的なメリット、デメリットの説明不足。 権限委譲の多少による具体的なメリット、デメリットの説明不足。 行政公立の面積、形状による具体的な利害の説明不足。</p>
<p>人口は少なくなるが、その中でもがんばれる方法があると思う。合併反対！</p>
<p>合併後、行政サービスは今以上になると信じる。良くなるために合併するのだと思い、それを願う。</p>
<p>小さな声が、大きな声に変わる合併を望む。</p>
<p>合併後も、郷土の特色は残せる。自立可能な行政ができる地域と、合併するのが望ましい。</p>
<p>各地区とも参加者が少ない。この合併問題について、感じるところが薄れていると思う。この大事なことに付いて町民の一部の声しか聞くことができないのは何故か。</p>
<p>説明を聞いて思うのは、「合併も目的は何なのか」「合併するには何が必要なのか」ということである。「やってみなきゃわからない」という思いはあるが、ある程度選択肢を絞らないと方向性が見出せないのではないかと。</p>
<p>住民が快適に過ごせるようにしてほしい。 老人福祉が手軽に受けられるように望む。</p>
<p>当初から、理想的な構想ばかり歌い上げて、足元を救われた感じは否めない。執行部が確固たる信念を持った試案を持っていなかったのではないかと。今ここに説明会を開催し、十数人の意見を聞き、何を持って決断の基準にするのか、町長に聞きたい。自治会長会を開くと聞いたが、議員と同じく自治会長も住民の意見を集約していない。何度も研修会や現地視察をやって経費の無駄使いではないのか。ただ、説明会や視察や形式だけのプロセス造り（口実）ではないのか。町長の責任重大である。</p>
<p>現在の既存のシステム（広域組合等）を生かしたほうがよい。行政側・議会の承認で決定するのではなく、住民投票も検討の一つのツールになると思います。議会が承認をして決定するのなら、議員から住民への説明責任が必要。たとえば、松阪市と文化圏が一緒だからといって、合併するということではないと思う。嬉野町という地域の今後（合併後）のビジョンが大切であり、それがしっかりしていれば「地域の伝統・特性」が継承されると思う。</p>
<p>親しみやすい松阪と思っているのは、年寄りだけ。これからがあるのは若い人たちは・・・だから将来を見通して考えてほしい。</p>
<p>将来構想を考えれば、合併する必要有。特に津地区への合併がよい。</p>
<p>民意をどう吸い上げるのか。今の議員を合併問題で選んだわけではない。</p>
<p>商業圏等を踏まえた松阪市を中心とした合併は、あり得ない。なぜなら比較的財政力のある町が参加していない。財政的な面、県庁の所在地等、今日までの広域行政等を考え合わせると、津市を中心とした合併以外に考えられない。英断を期待する。</p>
<p>これからの事、世代を考えると、11市町村へ合併するほうが良いと思う。</p>
<p>嬉野町のこれからのことをもっと充分に考えること。嬉野町独自で進めたほうが良い。取り組みが遅い。方針が決まっていないこの時点で、このアンケートで決められない。住民投票が必要と思う。</p>
<p>振り向けば嬉野町だけになったときは、誰が責任を取るのか。</p>
<p>判断できる材料が示されない。判っていないことでも推定し、未来のビジョンを明確にしてほしい。そうでないと梓組も判断できない。合併は、行政のスリム化、リストラ等が絶対必要。梓組に関係なく、嬉野町としてどこまで痛みを伴った改革をするのか。</p>
<p>現在の（目先）のことにこだわらず、将来（30年～）の住民の意見を考えた合併のあり方を検討してほしい。</p>
<p>個性が光る交流都市を目指す実現で行こうとすれば、松阪市5市町の方が地域を生かしていけると思う。30万都市、50万都市をゆくゆくは目指すと思うが、まず第一段階として、松阪市5市町を望む。</p>
<p>経済的に合併したほうがよい。</p>
<p>11市町村による合併が望ましい。やはり財政規模の違いがある。ある程度の財政規模がないとサービスの向上が見込めない。松阪では、変わらないどころか、サービスが低下するのではないかと。</p>
<p>住民が、合併に関し理解しているのか、何もわからない。</p>
<p>国の方向に従って、合併はよいと思う。住民サービスを優先に考えてください。</p>
<p>今まで築き上げてきた歴史、発展途上にある嬉野をなくしたくない。</p>
<p>福祉や介護保険等を考えると、大きな町となることが重要と考えます。</p>
<p>本当の町づくりを思うのであれば、町長の安易な考えで進める合併では困る。大きく良き町にするためには、津市との合併を充分考え、将来のことを考えるべき。足元も大事だが、目先のみ考えが強すぎるのではないかと。真剣に物事を考えて、初めてことが成り立つものではないかと。</p>
<p>地域の個性・特色を生かしやすく、地域の声が届きやすく、施策に反映しやすいことを考えると、一志郡4町村の合併が望ましい。同規模の町村で地域格差が少ない等、4町村を選択する。もし、これができない場合は、第2の案として11市町村にならざるを得ないのではないかと考える。</p>
<p>津地区の南の玄関として交通、文化の中心として、発展できる可能性は充分認められると思う。この先はまた道州制に発展し、松阪地区と合併の考えられる。一志地区の合併では行政メリットがないと思う。</p>
<p>駅前の開発、インター周辺開発の赤字の補填が、4町村合併では無理。津方向の合併でも相手方がいやだと思いが、3方向の中では一番当町に有利。今の行政当局にお任せでもない。梓組決定は住民投票で望む。</p>
<p>一般住民に判断できる資料を望む。</p>

4 町村首長の責任が問われる。町村長の協調性が全くない。
幼稚園料等はどうなのか。
地方分権に対応する町に。
説明から 4 か町村は合併ありきと聞こえる。具体的に、この方向で進んでいるが、「皆さんはいかがと思うか」正直に問うたらどうか。
無駄な公金を使うな。
対等合併を望む。市の中心の発展でなく地方の整備も望む。
我田引水にならない様、合併すればどうなるかを具体的に説明すること。
比較対照の話だけでなく、合併後、何がかわるかをもちと具体的に聞きたかった。もちと我々の目線にたった説明をしてほしかった。そういったことの予測が立てられないのであれば、こういった説明会は必要ないと思う。資料だけ配布すればよいのではないか。
松阪市との合併により、嬉野町振興計画（中川駅中心）を、市の第 2 の中心と P R し、副都心的発展を望む。
町執行部と議員の決定では、若者の意見は反映されない。生活をする上で、行政の枠組みが大きいほうが、何かと便利である。行政エリアが都市に近い方がより良いサービスが受けられる。広域行政体が、今後は構成ができなくなりそうなかで、消防やごみなど生活と密接なものが小さな行政で運営できていけるのか不安である。住民サービスが多様化する中で対応できない。
一志郡 4 町村合併の場合、将来高齢者が多くなる。福祉充実のことが心配。財政難では、松阪市と合併すれば多くの面でサービスを受けやすくなる。嬉野町は 4 町村合併を推進しているように思えるがおかしいのではないかと。職員の仕事云々と言われるのは場違い。職員は仕事するのが当たり前。職員の甘え。
財政的な数字が先行し、まちづくりとして、どのような町になっていくのか、また、していくのか 3 パターンを示してほしい。
職員重視、住民軽視のように感じる。職員がスキルアップして住民を引っ張っていくことを望む。一志郡 4 町村合併の方向に、町側が強く傾いて説明されているように感じました。嬉野町は松阪市と広く接していて、日々の生活でも経済的、日常的に住民は松阪市との強いつながりがあります。病院・スーパー・文化的な四季の祭り等、実質的な面でも、歴史文化的面でも松阪市との合併以外考えられません。将来的に、経済財政的基盤も大きく、そこに嬉野町が加われば、より、商業や工業を進展させることができるのではないのでしょうか？職員・議員の方の数は削減されるかもしれませんが、それによって、嬉野町民に対する権益が軽視されるようでは困るし、そのようなことはないのではないのでしょうか？現在の同等をとるよりも、嬉野町が力を発揮して将来の同等をとることを住民として切に願います。一志郡 4 町村より、発展の可能性を松阪市との合併の方に感じる。若い世代としてこれからも嬉野町に住む時間が長い分、切実に松阪市との合併を希望します。今の松阪市を嬉野町が率いていくその将来性、可能性にかけてほしいです。"周辺"であることを当初からマイナス要因に決めつけているのではなく、もっと強く嬉野町を主張できるように願います。
津地区への合併しかない。町長が町民のために津地区の法定協議会への参加の決断を望む。
今日説明を受け、すぐアンケートを回答するのが難しい。じっくり考える問題だと思うので、住民投票を望む。住民投票となれば、今関心を持っていない方々を、しっかり自分たちの現実の問題として、町の将来について考えられると思う。
合併自体が先が見えない。行政の合理化、広域行政化は合併なしで進めることは可能ではないか。合併にあせり、道を失うのではと心配である。国の指針に従って、わけもわからず具体的議論、データなしで合併議論をしている印象を持つ。
津市、松阪市共に歴史ある町であるが、市街地がこれから発達する見込みがあるのは一志郡の方であると思う。そこまでして合併せずとも単独でと言う気持ちもある。
公共料金の比較等のみでなく、合併すれば自治体の合併後の職員数・議員数が異なるようになり、行政経費が全体として少なくなるのが利点として国が進めていると思うが、その効果が如何になり、デメリットがどのくらいになるかが比較できないので、どの枠組みかと言われても一般市民としては選ぶのは難しい。合併の方向は人それぞれであり、町代表の議会で決定されればよいと考えている。
合併が大きくなるとサービス（行政）の低下。一志郡 4 町村合併、サービス向上に期待する。
合併後の財政的なことなどを考えると、大きな合併のほうがよいと思う。
若い人が将来に希望が持てるような合併を望む。目先の判断はしないように願いたい。
一志郡四町村合併できない場合は松阪地区との合併を希望する。
合併に際して財政が重要になってくるので、津市についての方が財政面では有利と思う。3 0 万都市になった方がメリットがある。津の方がよい。
松阪市との合併反対。嬉野が一番良い場所だからそれを生かしてほしいです。
住みやすいが基本であると思う。便利で負担が少なく、自然との調和を目指し、それに向かって行く為の合併が重要である。国を頼るのではなく自立、自治のできる合併が良いと思う。基本はあくまでも住民である。住民からのスタートでなければならない。一つの小さな自立できる国くらいの気持ちでやってもらいたい。
税収が減少する中（ゼロ成長）「箱物」を減らし、ソフト面を重視する必要がある。
消防・ごみなど広域行政を見直すということは新たな負担が必要となる。本当にそのような負担を伴う見直しが可能か。そしてそのような負担は、効果があることなのか。
将来 5 0 年くらいを見据えて医療介護、ゴミ処理問題等を考えた時、財政負担をできるだけ少なくする事が必要と考える。したがって広域行政を見直す必要があるのは一考を要す。
1 1 市町村との合併を進めるべき。将来ある子供たち若い人に向けた合併をしてほしい。
4 町村合併では広域行政面で財政的に大変な負担になるのではないかと。議員が残れるというメリットはあるが、5 万くらいの市では合併の意味なしと思う。津市へ合併することに賛成。
今までどおり自然にあふれる町（街ではない町）。のんびり、ゆったり、心温まる様な町であってほしいので、合併なら 4 町村。
白山町へも働きかけて一志郡 5 町村での合併を望む。

大規模合併だと周辺地域は見捨てられると始めから定めてかかるのはどうかと思う。努力をすれば、それは免れることができると思う。大規模合併のメリットは数多くある。問題は、大規模の中でよく見られる、木目細かさは優れた組織と、その運営で切り抜けるよう努力すべきである。
町村合併の基は、地方財政の立て直し。夢の合併では不可。
情報が少なく遅い。ホームページなどで早く周知を。スケールメリットを考え大きく合併すべき。議員の数、職員の数が増えるのは当然。合併すればどこかの市町村が周辺になるのは当然であり、嬉野だけがいやだというのはおかしい。一志郡だけでは無理。
今後の進め方が見えてこない。
津地区か松阪地区に合併が一番いいのでは。
合併に関しては、なぜ必要で、誰のための合併なのかを住民に問うべきだ。
行政、消防、ゴミ、介護問題を考えた場合、津地区がよい。
財政的に自立できる範囲で、できる限り小さい枠組みでの合併。
合併においてはやはり若い世代の意見を取り入れていった方がいい。
町の各合併に対する明確なビジョンの提示を願う。
津は30万人の面子にこだわり過ぎ、将来の大きなビジョンと周辺部の対策を具体的に提示を。
大きくまとまった方が（財政基盤等）強固になる。できれば津～松阪の大同合併を。
行政、議員の中で決定する中で、若者（職員）の方々の意見も吸収した上で大切にしてもらいたい。若者の未来をもっと考えてほしい。
合併についての資料・説明が乏しい。
合併しないとわからない問題が多くあると思うが、合併するのであれば、一志郡するのが最良なのではないかと思う。
合併は必要だと思う。当町の現在の選択肢は3つありますが、どれも決めてがない事も事実。広域の事務組合や県関係の組織も津との関わりが多いので、11市町村の合併が良いのではないかと。
一志郡での合併が一番望ましいが、最近の状況から無理である（全町村が望んでいない）。また、松阪市との合併は生活圏からはもっともらしいが市の将来性がない。津市を主体の合併は財政力といい県都として将来は何とかなる。町長はあまりに意地にならず大きい市との合併を望む。
財政が厳しい中で、何故小さくまとまるのか。次の展開が可能か。地域審議会や周辺をより聞き入れられるように努めるべきでは。
アンケートの意見を聞いていただけないのなら書く意味がない。経費の無駄である。
住民アンケートもよいが、行政なみに議会の意見は少しも入ってこない。今の時期になれば方向も少しは提示されたらどうか。
津松阪と一志地区と30万都市の合併の方が長い先の事を考えると賢いように思う。町長に一言、考える前に町民のこと、大きい考えを持ってほしい。
一志郡4ヶ町村合併に向かって最大限の努力をし、めざすべき。
若い人たちの意見をぜひ聞くべきで、最終的には住民投票を行ってほしい。
小さい合併は、財政的にも負担の点でも意味がない。また、2回にわたる合併は財政的（町にとっても個人にとっても）に負担が大きすぎるので、4町村の合併は意味がない。
昭和の大合併で何か良くなったか。だから無用の混乱を招く合併などせず、地方自治体の赤字の元凶となった、政治の怠慢を改めるべきである。
白山町が入るなら一志郡での合併がいいと思う。
一志郡4町村合併、無理であれば、早急に結論を出すべきだと思います。
一志郡4町村で合併のメリットで、財政が少ない中、十分なサービスが出来るのか。
町の方針が示されないことに非常に不満を感じる。町行政が住民に対して、どのような責任（責務）を感じているのか見えてこない。合併せざるを得ないことは理解している。どの構想も具体的な説明になっていないばかりでなく、責任逃れの感がしてならない。早急に基本方針を示さなければ結論を出すわけにはいかない。
住民生活に一番良く、最高の考えを希望する。
「みんなで考えよう」という歌い文句のとおり、主役は住民です。将来の嬉野を見据え、後悔しなくて良い選択が出来るよう努力願います。今日の時点で、一志郡4町村は選択肢の一つに入っていますが、これが消えて、津地区、松阪地区の二つになったとき一志郡を選択した人の意見は集約のしようがないと思うが、どうか。
未来のまちをどうするのか、展望を示せぬまま上意下達で合併が進められることには反対（説明会でも展望が示されたとは言えない）。いずれかの法定協議会に参加しても、その法定協議会を脱退することもあり得る意気込みで、取り組むよう願う。
対等合併であれ、吸収合併であれ、11市町村や松阪を中心とした合併であれ、嬉野町は周辺になる。高齢化社会にむけての住民サービスは低下すると思う。
財政基盤が安定している。30万都市となり、中核市指定の要件が満たされる。だから津市への合併が望ましい。
最良の方法を選択するとは言え、数通りの合併を模索するあまり、時間をかけすぎていて不可解である。
一志郡6町村の合併が望ましく思っていたが、現在は津地区よりになりました。財政的、規模等が豊かと思いません。
住民が住みやすい町になるよう望みたい。
30万都市の財政力は力強いと思う。生活圏は松阪ですが、16万都市の規模では夢がないと思う。
財政基盤が弱いことは大きな事業が出来ない。100億の借金をどうするのか。
合併した場合、今の自然をこれ以上壊すことのないような合併を望む。
合併の方向（枠組み）を早く決定した上で、合併後の新市の施策について、検討すべきである。
松阪地区合併の声が多いが、メリットの面からも津地区合併も考えてほしい。

<p>どちらにもメリット、デメリットはある。大事なのは、隣同士が意思疎通の図れる合併である。広域行政の問題など解決すべき点はあるが、いずれのケースも問題はあり、どのケースも今後（合併後も）の問題である。</p>
<p>早期決定協議会へ。</p>
<p>交通も情報も発達し、経済や活動範囲はどんどん広くなり、生活圏が広がっている。合併して、あえて広くならなくても生き延びる道はあるように思う。どこと合併しても、個性豊かなまちづくりが必要では。</p>
<p>財政力が一番と思う。</p>
<p>特に生活圏を重視し検討を願います。</p>
<p>問題が多すぎ分りにくいので、行政で決定をして。</p>
<p>地方分権を生かした町村合併、一志郡4町村の合併を望む。</p>
<p>合併は今後、発展のため、良いことだ。</p>
<p>生活圏での合併。</p>
<p>津地区への合併。町議会、町職員の保身のための合併の是非であってはならない。</p>
<p>地理的なことを重点に合併を。経済的なことは流動的である。一志郡がまとまることは良いと思う。住民投票も良いのではないか。</p>
<p>地域住民に感情的なしこりの残らぬよつな進め方を望む。しこりの中で大きくなつた一任氏としての願いである。</p>
<p>高齢者を支えていくには、人口が多いほど支えやすい。合併を考えると20～30年先を見て決定していかなければならない。</p>
<p>将来的には財政基盤の確保が大切。生活圏の結びつきと行政的結びつきは別であり、行政の効率化の可能な方向に進むべきである。対等の合併なんてありえない。サービス低下が心配なら、市議の活動を通して、地域の要求や枠組みの改善を計ればよい。将来を見据えた合併であるべきだ。子供たちが大切である。県都は30万人以上であって欲しい。</p>
<p>合併は避けて通れない。金よりも何よりも地域づくりに何が最も良い方法か、単純に考えていいのではないが、情報をもっと出して、地域での説明会を望む。</p>
<p>財政力の強化、税金の軽減、公共料金の安さ。</p>
<p>生活圏は重要な点であると思う。また、地域的なつながりも重要。この点から松阪地区が良い。</p>